

なか

広報

2005 No.13

- 発行日／平成18年2月13日発行
- 発行／那珂市
- 編集／市長公室企画課広報係
〒311-0192
茨城県那珂市福田1819-5
- ホームページURL(携帯可)／
<http://www.city.naka.ibaraki.jp>
- メールアドレス／
kikaku@city.naka.lg.jp

2 目次／Contents

那珂市誕生一周年 市民が集う	2
みんなで創る美しい環境の実現にむけて	4
那珂市行政改革大綱を策定	6
議会 第2回臨時会・第4回定例会	8
中学生みんなの「しゃべり場」	10
平成18年新春消防出初式	11
二十歳の門出 成人式	12
市政だより(住民税改正のおしらせ ほか)	14
環境ミニTOPICS ほか	19
まちの話題	20
Information	22
市中央公民館から図書案内	24
生き活き人 ほか	26
さわやかさん、表紙の裏側 ほか	28



わらかまぐらの前で今年初めての雪に喜ぶ子どもたち(曲がり屋前)

那珂市誕生一周年 市民が集う



小宅那珂市長

式辞 昨年の1月21日、那珂町と瓜連町の合併により「那珂市」としてスタート、歴史的な第一歩を踏み出すことができました。

まず、私が合併当初から心にかけていることは、旧2町の多様性を尊重しながら、一日も早い地域住民の融和と一体感の醸成を推進することと、住民サービスを充実させることです。そのためには、本市の状況を的確に把握して必要な

施策を展開することが極めて大切なことです。そのため、平成18年度は4つの重点事業を中心に、さらに質の高い行政サービスの提供に努め、県北地域の拠点都市として「人にやさしく文化の香り高いまち」の実現に向け、市民協働のもとに、全力で取り組んでいく所存です。

本日から、那珂市誕生2年目になりますが、「合併して良かった」と実感できるまちづくり、市民が誇りに思うまちづくりを進めていくことが、私に課せられた使命であると考えています。今後も引き続き、市勢発展のために最大限の努力をしていく決意です。



「カンツォン」「スターウォーズ」などの演奏で、式典に華を添えた五台小学校金管バンド部。今年の夏、第45回茨城県吹奏楽コンクールで金賞を受賞。その後第11回関東吹奏楽コンクールで銀賞を受賞。全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会に茨城県代表として出場。第40回茨城県アンサンブルコンテストでは、五台小から3組出場。そのすべてが金賞を受賞。1組は、第11回関東アンサンブルコンテストで第1位に輝くなど現在活躍中です。

記念式典

■基調講演

テーマ「これからのまちづくりのキーワード」

1つ目のキーワードは、「協働」です。協働とは、行政だけでなくNPO、企業、その他団体の皆さんがお互いに手を結んで、まちづくりを進めていくという考え方です。仕事を通じ、様々な知識や経験を身に付けているかたが、退職してそのままではもったいない。企業も地域社会を支える大事な要素。企業は経営の知恵を持っていて、人材・情報・技術など多くの資源を保有しています。しかし、それを地域のために役立てたいと考えている人がいても、どうして良いか分からない、それを結ぶのがNPOなどの団体です。これまでは役所や団体、企業が地域を別々に支えてきましたが、横の連携が十分でなかったきらいがあります。1+1=2ではなく3とか4になるのです。

2つ目のキーワードは、「文化」です。文化といっても幅広く考えて良いわけで、今日、お聴きした五台小の吹奏楽も立派な文化。あるいは演劇なども。その他私たちが持っている生活の習慣なども大事な生活文化です。これから自由時間を持つ人が増えるわけですから、文化的な活動によって地域の交流ができれば、「協働」のキーワードにもつながっていくわけです。

3つ目のキーワードは、「コミュニティ」です。コミュニティとは地域共同体的ことで、小学校区単位ぐらいでその活動をするのが適当でしょう。行政がお膳立てをして会を作るのではなく、地域が主催していくというのがコミュニティです。阪神淡路大震災でもそうだったように、コミュニティ活動が盛んなどころとそうでないところでは相当の差がでできます。

まちづくりフォーラム2006



基調講演／コーディネーター

Coordinator



■Profile／

1941年東京生まれ
1964年早稲田大学政経学部卒業、日本経済新聞社入社。自治、地域、都市問題担当編集委員、論説委員などを歴任。
2004年常磐大学コミュニティ振興学部教授
専門：地域政策、地域づくり
著書：「共創のコミュニティ」「自治体の地域政策」「地域連携の戦略」など多数

井上 繁 先生

常磐大学コミュニティ振興学部教授



特設ステージ

雪が舞う屋外特設ステージで、市民の皆さんが精一杯踊りや演奏のパフォーマンス（上）那珂よさこい連（右）カンターレらぼー（中）那珂太鼓（左）那珂ハーモニー



雪舞う1月21日

那珂市誕生一周年を迎えた1月21日、記念式典が中央公民館で開催されました。式典では、まず篠原助役からこの1年の那珂市のあゆみを報告。小宅市長から一周年を祝う式辞が述べられた後、来賓を代表して福田市議会議長、関県議会議員から祝辞をいただきました。また、姉妹都市秋田県横手市からも鈴木総務企画部長がかけつけ、五十嵐市長のメッセージを伝えました。

式典後「ともに考えようこれからの那珂市」をテーマに、まちづくりフォーラム2006を開催。基調講演や市民の代表によるパネルディスカッションが行われ、那珂市の未来について積極的に意見が交わされました。

屋外には特設ステージやテント村、わらかまくらなどが設けられ、参加した市民の皆さんは各種の催事を楽しみました。

■パネルディスカッション テーマ「那珂市になって変わったこと、今後の那珂市に期待すること」

パネリスト

Panelist



植田 実さん（菅谷）

■Profile／
NPO法人たすけあいネット民の会常務理事

たすけあいネット民の会のメンバーばかりでなく介護を受けるかたも皆、生きがいを求めています。生きがいは自分で見つけるもの。人が集まればおのずと生まれてくるものなのです。行政に携わるかたも、市民からの要求・提案を、既存の法律や制度があるからできないと諦めるのではなく、市民と行政が協力して障害をクリアし、高齢者・障害者が安心して住める那珂市を作り上げていくことを期待します。



佐藤米子さん（古徳）

■Profile／
スワン暮らしの会会長・茨城県消費者団体連絡会役員

合併前の瓜連町は確かに小さな町でしたが、住民の要望が行政に良く反映され、イベントなどを通じて、住民間の交流もよくなされていたと感じます。那珂市になってからは住民と行政、また住民同士で関わる場が、中心市街地に集中し、市の中心から離れるほど少なくなりました。これからは旧那珂町の皆さんと一つの輪となって、市民一人ひとりが那珂市に住んでいて良かったと思えるようにしていきたいですね。



加藤美幸さん（額田南郷）

■Profile／
平成17年度成人式実行委員会委員長

今年度、市として初めての成人式の実行委員長をさせていただきました。那珂市になって変わったことといっても住所が短くなったことぐらいで実感としてはあまりありません。これからの那珂市には、もっと人をひきつける特色となるものが必要ではないかなと思います。私たちには若い力があるのでぜひ頼っていただきたいです。これから私たちの年代も活躍できるようなまちになったらいいかなと思います。



篠原晃重助役（菅谷）

■Profile／
那珂市助役
元茨城県農地局長

合併したことにより、福祉事務所や市民相談室が設置されるなど機能の充実が図られました。これからのまちづくりは、協働がポイントです。市民が要望する課題を市民自らが解決していくような活動については、市も積極的に支援を行っていきたくと考えています。これからは少子高齢化社会への対応が大きな課題になる時代。私たち行政には、限られた財源で最大の成果を生み出すことが求められていると思います。

みんなで創る

美しい環境の実現にむけて

廃棄物の処理及び清掃に関する条例を制定

各地で深刻さを増しているごみのトラブル。山林への不法投棄や排出方法など問題は後を絶ちません。そこで、市ではこのたび、廃棄物の排出抑制や適正処理、リサイクル促進などを目的に、「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を制定しました。

条例では、一般廃棄物の減量や排出する際の分別などについて市や市民、事業者、廃棄物処理事業者の責務を定め

ています。これにより、ごみの不法投棄への抑止効果が期待できます。

また、この条例では、各家庭から市に出された新聞紙などの資源物の所有権が市にあることを定めています。所有権を明確にすることによって、早朝に多発している資源物ごみの持ち去り行為に対し、警察機関などと連携しながら、より効果的な取り締まりが可能となります。

美しく住みよい生活環境づくりには、今回の条例の制定に加え、市民の皆さん一人ひとりの行動が不可欠です。たとえ小さなことでも、みんなで毎日続ければ、それは大きな力となります。地域に暮らすみんなが誇れる「那珂市」の実現に向けて、環境美化にご協力をお願いします。

守ってください！5項目

- ①ごみは朝8時までに出してください。
- ②決められた集積所へ出してください。
- ③ペットボトルはふた・ラベルを取り、中をすすいで潰し、黄色の指定袋に入れて出してください。
- ④ビン類はふたを取りカゴに

入れて出してください。
⑤法律により、ごみを燃やすことは禁止されています。「燃えるごみ」として出してください。

ご協力をお願いします

①ごみを出さない買い物の実践

・マイバック（買い物袋）の持参

・品物の過剰包装を断る
・再利用可能なびん入りの商品の購入

②生ごみや草木の堆肥化
・生ごみ処理機器、コンポスト購入者に補助金を出していますのでご利用ください。

③地域リサイクル活動やボランティア活動への参加

・市内一斉清掃などのボランティア活動に積極的に参加
・子供会、自治会などが行っている廃品（資源物）回収活動等に参加・協力
④情報提供
・不法投棄などを発見した場合は、市へ情報を提供してください。



今回の条例では、資源ごみの所有権が市にあることを定めています

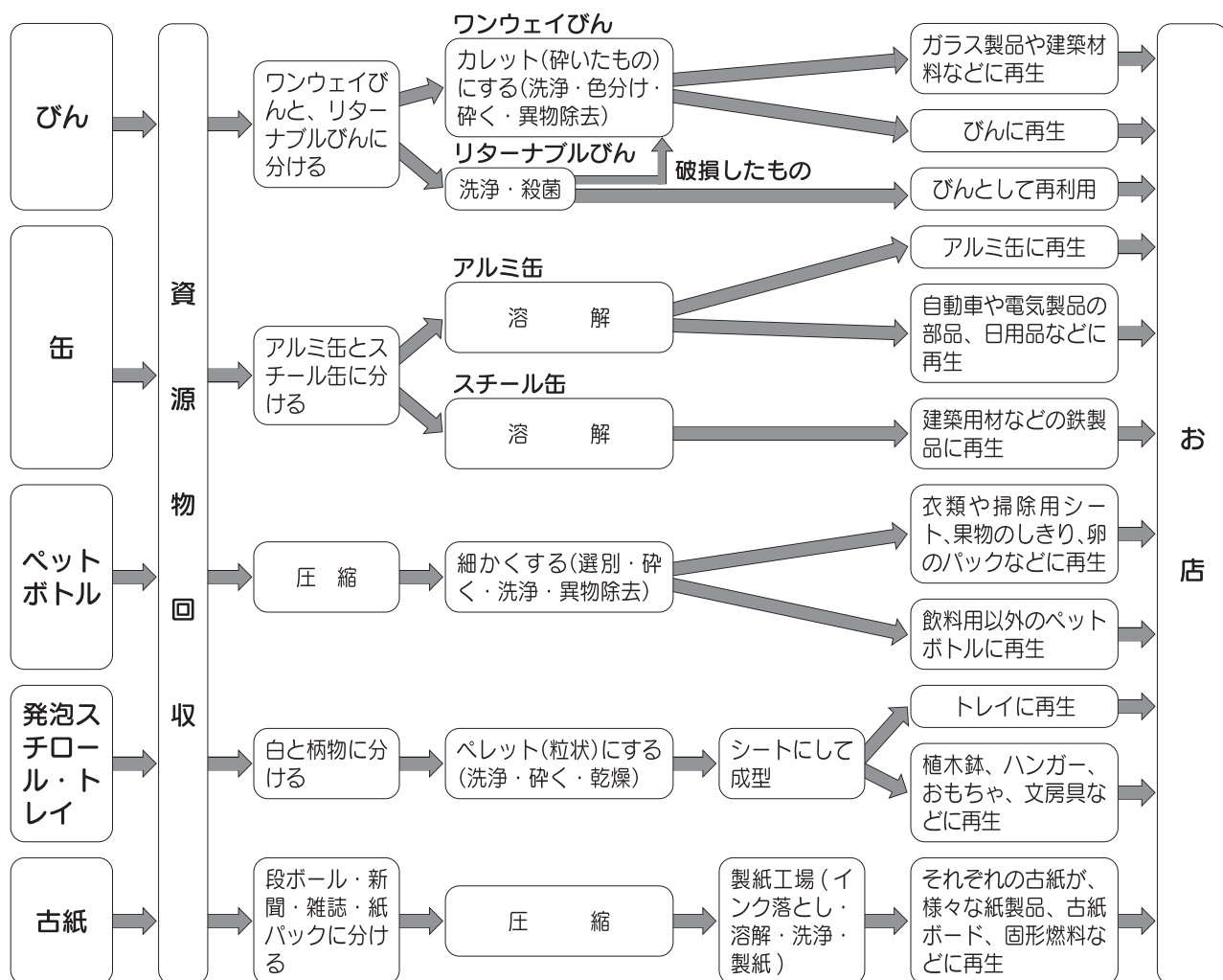


美しい環境は自分たちの手で

古徳区（佐藤衛区長）の地域づくり委員会の皆さん約40人が12月4日、古徳沼からバードラインにかけての市道沿いに不法投棄された粗大ゴミ等の回収作業を行いました。同地区では自らの地域は自らで守ろうと、積極的に清掃活動に取り組んでいます。



資源物はどうしてリサイクルされています



那珂市行政改革大綱を策定

市民の視点で、行政改革を進めます

は、有識者や公募の委員からなる行政改革懇談会の審議をいただき、行政改革推進本部において決定しましたので、行政改革大綱及び実施計画の概要についてお知らせします。

今回策定しました新行政改革大綱に基づき、最小の経費で最大の効果をあげるべく行政運営に取り組んでいきます。

■行政改革の必要性

平成12年4月1日に地方分権一括法が施行されたことにより、国と地方公共団体との関係は大きな変革の時期を迎えました。また、少子高齢化や男女共同参画の一層の進展、市民の価値観の多様化、環境に対する関心の高まり等社会情勢は大きく変化してきています。そのような状況の中で、地方自治体は、自らの責任において、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できるように体

質を強化し、市民福祉の向上と個性的で活力ある地域社会の構築を図ることが求められています。

しかしながら、社会情勢の変化に伴う市税等の伸び悩みや国の「三位一体の改革」における国庫補助金・地方交付税の削減や税源の移譲の提示などにより、地方公共団体を取り巻く環境は一段と厳しさを増しており、本市においても投資的事業に充てられる財源の確保は難しく、基金の取り崩しによって補っているなど極めて厳しい状況にあります。このようなことから、従来にも増して効果的な行政運営を進めるとともに簡素・効率化を図らなければなりません。また、多様化・高度化した市民ニーズに応えるためには、行政と市民・民間との役割分担を明確にし、市民や各種団体、企業など地域社会を構成する様々な主体が協働してまちづくりを進める必要があります。

那珂市行政改革懇談会が市長に答申書を提出

那珂市行政改革懇談会では、行政改革大綱及び実施計画等について、毎回大変熱心で密度の濃い議論をいただきました。11月2日に開催した第3回行政改革懇談会で答申がまとまり、桑原英明会長及び木名瀬正幸副会長から小宅市長に答申書を提出しました。



小宅市長に答申書を手渡す桑原会長(左)及び木名瀬正幸副会長(中央)

市では、従来にも増して効果的な行政運営を図るとともに簡素・効率化を図る必要があることから、那珂市行政改革大綱及び実施計画の策定を進めてきました。策定にあたって

■実施計画

「実施計画」は、「那珂市行政改革大綱」に基づき実施すべき改革項目について、具体的な改革の内容等を定めています。推進期間は平成17年度から平成19年度までの3年間としており、実施項目は39項目となっています。

実施内容（実施項目：39項目）

重点事項	推進項目	実施項目
行政の担うべき役割の重点化	民間委託等の推進	民間委託の推進
	指定管理者制度の活用	指定管理者制度の活用
	市民参加・協働の推進	住民主体によるまちづくり活動支援制度の確立、審議会等委員の公募、審議会等へ女性委員の登用
公正の確保と透明性の向上	説明責任の確保	ホームページの充実、行政評価結果の公表、パブリックコメントの実施
組織等の見直し	組織等の再編の推進	組織機構の見直し、幼稚園の再編、公共施設の有効活用
人材育成の推進	分権型社会の担い手育成の推進	人材育成基本方針の見直し
	人事評価の確立	人事評価制度の導入検討
電子自治体の推進	電子市役所の実現	文書管理システムの導入、いばらき電子申請・届出サービスの周知
	情報セキュリティ対策の充実	セキュリティポリシーの見直し
行政評価システムの確立	事務・事業の見直し	行政評価システムの確立、公文書の首長印及び附属機関等長印の押印見直し・廃止できるものの検討、各種申請書等の簡素化、市有財産の管理のシステム化、文書発送体制の改善
定員管理及び給与の適正化	定員管理の適正化	定員適正化計画の策定
	給与の適正化	職員給与等の公表、各種手当（特殊勤務手当・通勤手当）の見直し・廃止を検討、旅費の見直し
自主性・自律性の高い財政運営の確保	自主財源の確保	市税等の徴収率の向上、使用料・手数料等の見直し、広告料の徴収
	経費の節減合理化等財政の健全化	市債発行の抑制、公用車管理方法の見直し、契約事務の一元化、未利用財産の活用と処分、省エネルギー・省資源の推進、前納報奨金の見直し、バランスシートの作成、行政コスト計算書の作成、行政サービスの公平化
	補助金等の整理合理化の推進	補助金の整理合理化
	公共工事コストの縮減	工事成績表の有効な活用

○那珂市行政改革大綱

（ダイジェスト）

○基本目標

行政主導で進められてきた行政運営を見直し、市民主体・市民参加による「活力あるまちづくり」を推進するとともに、コスト意識など民間の発想を生かした行政経営への転換を進め、『行政経営の確立』を柱に、これまでの行政改革の成果を踏まえ、新たな行政改革に取り組みます。

○基本方針

- (1) 市民とともに進める行政改革の推進
- (2) 市民ニーズに対応した行政経営体制の確立
- (3) 健全で効率的な行政経営の推進

○重点事項

- (1) 行政の担うべき役割の重点化
- (2) 公正の確保と透明性の向上
- (3) 組織等の見直し
- (4) 人材育成の推進

○推進期間

この行政改革は、平成17年度から概ね5年間にわたって取り組みます。

- (5) 電子自治体の推進
- (6) 行政評価システムの確立
- (7) 定員管理及び給与の適正化
- (8) 自主性・自律性の高い財政運営の確保

※市のホームページの「行政改革」に那珂市行政改革大綱及び実施計画の全文が掲載されていますのでご覧ください。

<http://www.city.naka.ibaraki.jp>

問い合わせ／企画課行政改革係

☎298-1111 内線432

議会

第2回臨時会 第4回定例会

平成17年第2回那珂市議会臨時会が11月29日に開催され、市長提出議案1件（条例の一部改正）について審議。原案のとおり可決されました。

また、第4回定例会が、12月6日から16日までの11日間の会期で開催されました。市長提出議案は、条例の一部改正10件、補正予算8件、規約の一部改正1件、その他5件合わせて24件です。審議の結果、全議案について原案のとおり可決されました。

わ台団地汚水管渠補修工事。また、11月には、中里地区第3・第4マンホールポンプ設置工事を、それぞれ発注し、現在、施工中であります。

■農業農村整備事業について

10月に河原山地区及び北酒出樋渡地区第1工区、門部地区の排水路整備工事を発注し、11月には、北酒出樋渡地区第2工区排水路整備工事及び沢の上溜池工事を発注しました。

■農業集落排水整備事業について

10月に鴻巣地区管路施設設計業務及び鴻巣地区土質調査業務を発注しました。

■行政改革について

行政改革につきましては、民間有識者や公募委員等で構成された那珂市行政改革懇談会の答申を踏まえ、新たに行政改革大綱を定めるとともに平成19年度までの実施計画を策定いたしました。

平成18年度予算編成基本方針 及び重点事業（要旨）

△平成18年度予算編成基本方針▽

本市の財政状況は、合併市町村補助金や合併特例交付金を始めとした国や県の財政支援措置を受けることができるものの、歳入の根幹となる市税収入は、依然として低迷が続けており、また、地方交付税について、総務省の概算要求で前年度比2・7%減とされ、「三位一体の改革」に伴う総額の抑制が想定される



行政報告をする小宅那珂市長

市長行政概要報告（一部省略）

■消防業務について

管内の事業所及びその他関係機関に対し、消防訓練指導15回（参加者3,501人）、普通救命講習会4回（修了者76人・救急法1回（受講者60人）を行い、初期消火対応と応急手当の普及に努めました。

8月22日から11月17日までの火災件数は、4件（建物3件、その他1件）、救急出場件数は、395件（急病206件、交通事故75件、その他114件）でありました。

消防ポンプ自動車（更新）整備につきましては、10月に西消防署へ1台配備いたしました。

■都市計画道路について

上菅谷停車場線及び菅谷市毛線につきましては、引き続き、用地交渉を進め、用地の確保に努めているところです。また、瓜連駅南停車場線及び西室家中道線につきましては、用地測量の確定及び補償調査を実施しているところです。

工事につきましては、9月に発注した上菅谷停車場線及び原前杉原線の雨水排水路工事を、現在、施工中であります。さらに、上菅谷停車場線及び原前杉原線の道路改良工事については発注事務を進めており、まもなく発注する予定であります。

■道路改良舗装事業について

道路改良舗装事業につきましては、9月に西才の内浜沼線道路改良舗装工事を発注したほか、10、11月には4路線を発注し順調に進捗して

おります。

■上水道事業について

配水管布設事業につきましては、10月に横堀地区配水管布設工事（第1工区）、杉原地区配水管布設工事（第1工区）を発注しました。また、老朽管更新事業として、9月に後台・菅谷地区配水管布設工事を、10月には下水道工事に伴う堤地区配水管移設工事（第1工区）、杉原地区配水管移設工事（第1工区）を発注し、現在、施工中であります。

■公共下水道事業について

9月に横堀・向山地区実施設計業務委託、横堀地区汚水管布設（第1・第2工区）工事、中里地区汚水管布設（第1・第2工区）工事、10月には、下菅谷地区実施設計業務委託、堤地区汚水管布設（第1工区）工事、杉原地区汚水管布設（第1・第2工区）工事、中里地区汚水管布設（第3工区）工事、横堀地区汚水管布設（第3・第4・第5工区）工事、とき

市長提出議案等(全議案可決)

<第2回臨時会>

◆条例の一部改正

市の職員給与に関する条例の一部を改正する条例

<第4回定例会>

◆条例の制定・一部改正

市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例／市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例／市税条例の一部を改正する条例／市学校施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する等の条例／市公共下水道条例の一部を改正する条例／市下水道事業債償還基金条例の一部を改正する条例／市名誉市民条例／市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例／市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例／市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

◆平成17年度補正予算

市一般会計補正予算(第5号)／市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)／市下水道事業特別会計補正予算(第3号)／市公園墓地事業特別会計補正予算(第1号)／市農業集落排水整備事業特別会計補正予算(第2号)／市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)／市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)／市水道事業会計補正予算(第2号)

◆その他(同意を含む)

公の施設の広域利用に関する協議について／茨城県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について／茨城租税債権管理機構規約の一部改正について／字の区域の変更について／大宮地方環境整備組合規約の変更について／教育委員会委員の任命について

可決された議案から

○教育委員会委員の任命について(同意)

市教育委員会平松俊男委員及び廣木忠雄委員の任期満了に伴い、平松俊男氏を再任し、中庭純氏を任命することについて、市議会の同意を得ました。また、1月5日に開催された臨時教育委員会において、委員長に伊東三代治氏が選任され、教育長に平松俊男氏(再任)が任命されました。



平松俊男委員



中庭純委員

ことから、合併に伴う交付税措置を考慮しても大幅な増加は見込めない状況にあります。

歳出では、市債残高が平成16年度末の一般会計で188億円を抱えており、今後その償還に係る公債費や扶助費等の義務的経費の増大が予想されており、また、重点事業である上菅谷駅前地区や瓜連駅前地区の整備事業等に加え、新市まちづくり計画(新市建設計画)に位置づけられた主要事業に要する事業費の増大が見込まれることから、依然として厳しい財政運営が続くものと予想されているところであります。

このため、平成18年度の予算編成にあたりましては、歳入に見合った

歳出の原則に立ち、事務事業の抜本的な見直しや経費の節減合理化により、不要不急の歳出削減に努め、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することに徹するものとしたします。さらに、合併特例法が適用される期間内に行財政改革に取り組み、行政内部の管理的経費の削減等により、「自然・地域・ひと・先端科学が融和したまち」の実現に向け、新市まちづくり計画を着実に推進するために必要な財源の確保に努めなければならぬと考えております。

本市においては、行財政を取り巻く厳しい現状を認識し、限られた財源の重点的かつ効率的な予算配分の観点から、施策の厳選を徹底すると

ともに、事務事業の必要性、緊急性及び費用対効果等について、十分精査、検証の上、予算を編成してまいります。

△平成18年度重点事業▽

平成18年度は、「新市まちづくり計画」にのっとり、限られた財源を有効に活用し、長期的な視点に立った計画的な施策の展開を図るため、重点事業を次のとおりとします。

1 駅前地区市街地整備事業

市の玄関である水郡線上菅谷駅前及び瓜連駅前の市街地整備であり、市全体の活性化とともに、住民の利便性・安全性の向上に寄与する事業です。

2 防災対策推進事業

自主防災組織の育成、災害ハザードマップの作成、国民保護法制定に伴う国民保護計画の策定など、災害に強いまちづくりを進めるための事業です。

3 子育て支援事業

子育て環境の充実を図るための、子育て交流拠点機能の充実や放課後学童保育施設の整備、幼保一元化施設の検討など、少子化対策に寄与する事業です。

4 行政改革推進事業

合併による効果をさらに高めるため、新たな行政改革大綱に基づき、行政評価システムを活用した行財政運営の効率化など、行政改革の推進を一層強化していきます。

地域のかたは自分たちをどう思っているんだろう？中学生は学校でなにをしている？中学生と地域のかた。お互いがお互いをよく分からない現状。「しゃべり場」で向き合って、言いたいこと、思っていること、本音で語り合おう！

学校教育課指導室
☎298-1111（内線8277）

中学生みんなの「しゃべり場」 in NAKA-CITY



キーワードは「地域と共に」

中学生が地域のかたと語り合う「中学生みんなの『しゃべり場』」が12月7日、総合センターらぼーるで開催され、約250人が参加しました。

市内の五中学校からは生徒会役員が学校を代表して参加。各学校ごとに行われた分科会では、それぞれの学校で取り組んでいるゴミ拾いやあいさつ運動、ボランティア活動などを、内容をまとめたポスターを使って地域のかたに紹介しました。参加者からは「学校だけでなく地域全体で教育を行える環境づくりが大切」などの意見が寄せられました。

分科会の後にはパネルディスカッションが開かれ、中学生と地域住民、学校関係者が学校と地域とのつながりについて意見を交わしました。

「分科会のテーマ」那珂一中「見つめなおそう地域の中の私たち」／那珂二中「思いやりから広がる地域の輪」／那珂三中「地域一体学校化」／那珂四中「伝統を受け継ぎ、地域と共に歩む学校をめざし」／瓜連中「The Local Community with Us」

参加した中学生の感想

- 他の学校での様々な取り組みを知ることができた。自分たちの学校でも実践したいものがたくさんあり参考になった。
- どの学校も似たような活動が多いと感じた。学校のみんなで話し合い、特色ある活動をしていきたい。
- 普段話す機会のない地域のかたと向き合い、話をすることができた。これからの活動の参考にしていきたい。
- 地域のかたが自分たちの行動に関心を持っていることが分かった。
- 同じ学校の中だけでなく、地域のかたや他校の生徒のみなさんとも、もっと交流を広げる必要があると感じた。

参加した地域のかたの感想

- 参加する前は不安だったが、中学生のしっかりとした意見発表を聞くことができ、心強く感じた。
- 中学生の考えを聞けるよい機会となった。これからも「しゃべり場」を継続してもらいたい。
- 今日の分科会で話し合ったことをこの場だけの問題にせず、それぞれの学校に持ち帰り、これからの活動に役立ててほしい。



平成18年新春消防出初式

消防関係者が一堂に会し

地域の防火・防災を誓う

平成18年新春消防出初式が1月8日、那珂総合公園で行われ、市消防本部や消防団、自衛消防隊、婦人防火クラブなど関係団体総勢約800人が参加し、1年間の地域の安全を誓いました。

式典では、人員・服装点検をはじめ分列行進や関係者の表彰が行われました。その後、小宅市長は「消防職員、団員に寄せる市民の期待は大きい。市民が安全に安心して暮らせるまちを目指そう」と激励。参加者は防火・防災への決意を新たにしていきました。また、市内の幼年消防クラブ（市立幼稚園8園）の子どもたち234人もはっぴ姿で登場し、かわいらしいお遊戯に参加者や来賓の皆さんは目を和ませていました。



①地域の安全を守る使命感を一条乱れぬ行進で示した消防団員 ②背中に防火の文字が書かれたはっぴをまとい、「はね太鼓」の曲にあわせお遊戯をする園児たち

表彰、感謝状を受けたかた（敬称略）

■茨城県知事表彰

永年勤続功労章を授与する職団員（30年以上）

市消防団第6分団分団長 石川茂／市消防団第6分団第2部団員 宮内信一／市消防本部消防司令 三輪章／市消防本部消防司令補 寺門忠

永年勤続功労章を授与する職団員（20年以上）

市消防団第3分団第2部団員 大内將光／市消防団第3分団第2部団員 市川隆則／市消防団第6分団第2部団員 大森健一郎／市消防団第3分団第2部班長 片野重行／市消防団第3分団第3部班長 宇留野猛／市消防団第4分団第1部班長 和地一行／市消防団第4分団第1部班長 海野広幸／市消防団第3分団第2部部長 関正美／市消防団第7分団第1部部長 美山誠

■茨城県消防協会会長表彰

勤続功労章を授与する団員（30年以上）

市消防団第6分団分団長 石川茂／市消防団第6分団第2部団員 宮内信一

優良分団表彰

市消防団第7分団

永年勤続消防職団員妻女に対する感謝状を授与する妻女

市消防団第6分団分団長 石川茂 妻女 石川敏恵

■那珂市消防団長より感謝状を授与する者

茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会出場部ポンプ車操法の部

市消防団第1分団第3部（指揮者 後藤裕明／1番員 鈴木雅美／2番員 大高省二／3番員 小泉周司／4番員 後藤孔一／補助員 吉原裕之）

小型ポンプ操法の部

市消防団第5分団第3部（指揮者 緑川賢一／1番員 古田土薫／2番員 大越忠／3番員 星誠／補助員 叶野豊）



二十歳の門出

成人式

これから私はどう進むのか
繰り返す希望と不安
なにができるのか
全ては私しだい
歩んでいこう

那珂市成人式が1月7日、
センチュリープラザNKA
で開催され、二十歳の門出を
祝いました。今年度成人を迎
えるのは755人。新成人の
みなさんは、懐かしい友人と
の再会を喜び合いました。

式典では小宅那珂市長が
「ふるさと『那珂市』がさら
に大きく飛躍するためには、
皆さんの若い考え方や行動力
がぜひとも必要。社会人や学
生などそれぞれの立場は異
なっても、各分野で『自分

何ができるか』を十分に考え、
行動し、那珂市の発展に貢献
してほしい」と新成人に激励
の言葉を贈りました。

新成人を代表し、加藤美幸
さん（額田南郷）は「大人と
は、自分の力で自らの責任を
果たせる人間だと考えていま
す。成人として社会的な責務
を全うするだけでなく、道徳
的にも自分自身の良心に恥じ
ぬよう、精一杯生きていきま
す」と未来への抱負を力強く
宣言しました。

interview

新成人のメッセージ

成人を迎えてのメッセージをいただきました。



戸崎 愛さん
南酒出

成 人を迎え社会人の一人として生きていく中で、人の気持ちを気遣える責任感と自覚を持った大人になりたいと思います。毎日笑顔でいられるよう、何事にも前向きに向上心を持ちたいですね。これまで支えてくれた家族や友達に感謝する心を忘れずに、一日一日を大切にします。そして、少しずつでも親孝行をしていきたいです。



澤畑優子さん
堤

私 はこれまで家族や友人など周囲のかたがたの支えがある中で生きてきたことを、成人となった今実感しています。成人を迎え、大人としての自覚を持つことと、周囲のかたがたの支えに感謝できる人になりたいです。これからは自分一人ではここまでできなかったことを忘れずに社会に貢献できるよう、努力していきたいと思っています。



後藤泰裕さん
菅谷

式 を迎え、改めて自分が成人になったのを実感しています。この20年間、様々な事を学び、経験してきました。私が成長できたのは、出会った多くの人たちや家族が支えてくれたおかげです。本当に感謝しています。今日まで過ごした日々を大切にするとともに、気持ちを新たに自覚と責任を持った一歩を踏み出そうと思います。



山崎千笑さん
横堀

大 人にはなりたくないなあと思っていた自分はどこへやら、気が付けばもう大人の仲間入りです。多くの人に支えられ、ここまで歩んでくる事ができました。これからも様々な人との出会いを大切に、何事にもチャレンジして自分自身を高めていきたいです。そして、いつでもどこでも輝ける女性を目指して、頑張っていきたいと思っています。



小学生だったあの日の自分に再会

成人式を迎える木崎小学校の卒業生の皆さんが1月20日、タイムカプセルの開封を行いました。タイムカプセルは二十歳の再会を約束し、校庭隅の木の下に埋めたもの。掘り出した箱からは、絵や習字など懐かしい思い出の品が出てきました。当時の宝物を手し、昔話に花を咲かせていました。

個人住民税（市・県民税）が改正されます

平成18年度課税分から、個人住民税が次のとおり改正されます。

1 定率減税の見直し

定率による税額控除額が、所得割額の15%（上限4万円）から7・5%（上限2万円）に引き下げられます（表1）。

2 妻の均等割非課税措置の廃止

平成16年度までは、均等割の納税

義務を有する夫と生計を一にする妻については、収入に関わらず均等割が非課税となっていました。平成17年度から、この非課税措置が段階的に廃止されます（表2）。

※収入のない妻に関しては、従来どおり非課税になります。

3 公的年金控除の見直し

年齢65歳以上（昭和16年1月1日以前生まれ）のかたに適用される公

的年金控除の最低保障額は、140万円から120万円に見直されます（表3）。

※年齢65歳未満のかたについては、改正はありません。

4 老年者の非課税措置の廃止

平成17年1月1日現在で65歳以上で、合計所得金額が125万円以下（年金収入のみで245万円以下）のかたに対する非課税措置は、平成20

年度までに段階的に廃止されます（表4）。

5 老年者控除の廃止

年齢65歳以上で前年の合計所得金額が1000万円以下のかたに適用されていた老年者控除48万円が廃止されます。

■表1 定率減税の見直し

	税 率	控除限度額
現 行	15%	4万円
平成18年度以降	7.5%	2万円

■表2 妻の均等割非課税措置の廃止

	市民税	県民税	合 計
平成16年度まで	0円	0円	0円
平成17年度	1,500円	500円	2,000円
平成18年度以降	3,000円	1,000円	4,000円

■表3 公的年金控除の見直し

【現行】

平成16年中に支払いを受けた年金	年金収入金額	所 得 金 額
	260万円未満	年金収入 - 1,400,000円
	260万円以上～460万円未満	年金収入×75% - 750,000円
	460万円以上～820万円未満	年金収入×85% - 1,210,000円
	820万円以上	年金収入×95% - 2,030,000円



【改正後】

平成17年中に支払いを受けた年金	年金収入金額	所 得 金 額
	120万円まで	0円
	120万円以上～330万円未満	年金収入 - 1,200,000円
	330万円以上～410万円未満	年金収入×75% - 375,000円
	410万円以上～770万円未満	年金収入×85% - 785,000円
	770万円以上	年金収入×95% - 1,555,000円

■表4 老年者の非課税措置の廃止

課税年度	減 額 内 容
平成17年度	非課税
平成18年度	市・県民税額の3分の2を減額
平成19年度	市・県民税額の3分の1を減額
平成20年度	減額はありせん

老人保健制度は、高齢者のかたが

医療機関等を受診する際の負担を軽くし、安心して医療を受けられるための制度です。

那珂市の平成16年度の老人医療費

は約45億円でした。受給者数は、平成14年10月の老人保健制度改正に伴い対象年齢が70歳から75歳へ引き上げとなったため、現在は減少しています。しかし、一人当たり費用額は年々増加を続けており、平成16年度で約64万円と前年より2・4%の増加となっています。

※那珂市の合併前の数値は、旧那珂町と旧瓜連町を合算したものです。

平成17年5月の老人医療受診状況によると、循環器系の疾患が最も多

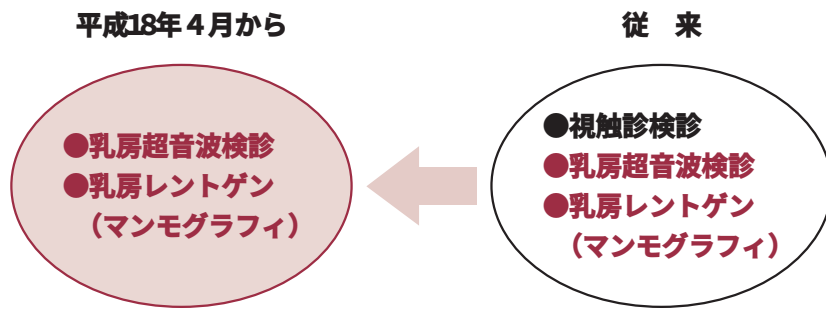
く、なかでも高血圧での受診が全体の約20%を占めています。また、高血圧や心疾患、糖尿病など生活習慣病と呼ばれるものが多くなっています。これらは、その名のとおり日頃の生活習慣が引き起こす慢性疾患で、完治には時間がかかります。しかし、日頃から「栄養」、「運動」、「休息」のバランスを心がけることで、

15 | 広報なか2月号

平成18年4月から、乳がん検診の受け方が変わります

これまで那珂市では、乳がん検診において「視触診検診」「超音波検診」「乳房レントゲン(マンモグラフィ)」の3項目を行ってきましたが、平成18年4月から図1のように変更になります。

<図1>



■検査項目

年 齢	項 目(受診の目安)
25～39歳	乳房超音波検診(年に1回)
40～49歳	乳房超音波検診(年に1回) + 乳房レントゲン2方向 ※1 (2年に1回)
50～56歳	乳房超音波検診(年に1回) + 乳房レントゲン1方向 ※2 (2年に1回)
57～65歳	乳房レントゲン1方向 ※2 (2年に1回)

※1：2方向：斜め横から乳房を挟み撮影、上から乳房を挟み撮影
2：1方向：斜め横から乳房を挟み撮影

◎乳房レントゲンにおいて、1方向及び2方向の選択はできません。

40歳代の乳房レントゲンについて

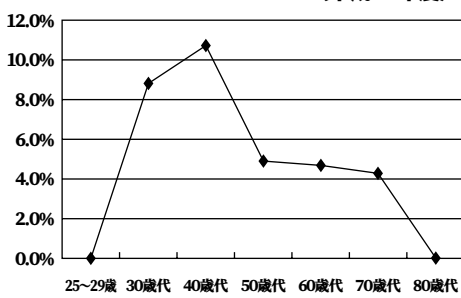
平成17年度までは乳房レントゲンの撮影方向が1方向だけでしたが、40歳代は乳腺組織が発達していることから、乳がんの早期発見のため撮影方法が、1方向から2方向へ変わります。

■料金

検査の種類		料 金
乳房超音波検診		900円
乳房レントゲン	40歳～49歳(2方向)	1,500円
	50歳～65歳(1方向)	900円

●平成18年度乳がん検診の申し込みについて
総合保健福祉センター「ひだまり」の窓口及び電話にて受付します。
(平成18年3月頃に配布予定の「平成18年度健康診査年間日程表」をご確認の上、お申し込みください。)
※医療機関で乳がん検診をご希望の場合、市からの補助はありません。全額自己負担となります。

那珂市の乳がん検診要精密者年代別割合(平成16年度)



乳腺にできる悪性の腫瘍です。特に40歳代から50歳代に多く発症しています。初期にはほとんど自覚症状はありません。
左図は平成16年度那珂市の乳がん検診要精密者の年代別割合です。40歳代に要精密者の割合が高くなっています。次いで30歳代、50歳代と続きます。精密者すべてが乳がんとは限りませんが、乳がんは早期発見・早期治療で乳房を残すことも可能です。自分の健康管理の一つとして年に1回は検診を受けチェックしてみましょう。

乳がんとは

平成17年火災概況

問い合わせ 消防本部予防課(☎295-2111 内線27)

平成17年中の火災の概況をお知らせします

平成17年中における火災発生件数は28件です。前年と比べると3件の減少となっています。

火災種別では、建物火災が17件で最も多く、全体の60.7%を占めています。その中でも住宅火災が11件発生しており、特に死者が3人と多く、原因はいずれも高齢者で逃げ遅れによるものです。対策として火災を早期に見つけることができる住宅用火災警報器の設置が望まれます。

月別の発生件数を見ると、4月の8件、5月の5件、3月と10月の3件の順となっています。特に、4月に住宅火災が6件発生しています。

出火原因別では、1位がたばこの6件、2位が放火

の疑いの5件、3位がたき火の4件となっています。たばこ対策としては、「寝たばこ しない させない ポイ捨てをしない」などの注意が必要です。また、放火対策は、家の周りに燃えやすいものを置かないなど、注意を払う必要があります。

火災による損害額は、8,642万円であり、前年と比べると763万円(1.1%)の増加となっています。これを1日あたりで見ると23万7,000円の損害となっています。

火災を起こさないためには、一人ひとりの心がけが大切です。まだまだ空気が乾燥する日が続きますが、引き続き、火災予防にご協力ください。

■火災概況

区 分	平成17年	平成16年
出火件数 (件)	建物火災	17
	林野火災	—
	車両火災	2
	その他火災	9
	合計件数	28
焼損棟数 (棟)	全 焼	12
	半 焼	1
	部分焼	8
	ぼ や	4
焼損面積	建物床(㎡)	804
	建物表(㎡)	28
	林野(a)	—
死傷者数 (人)	死 者	3
	負傷者	2
罹災世帯(世帯)		11
罹災人員(人)		36
出火率(%)		5.0

※出火率とは、人口1万人当りの出火件数の割合をいいます。

■損害状況

(単位：円)

区 分	平成17年	平成16年
建物火災	83,800,000	76,472,000
林野火災	—	—
車両火災	312,000	2,250,000
その他火災	2,308,000	68,000
合 計	86,420,000	78,790,000
1日の当たりの損害額	237,000	216,000
1件の当たりの損害額	3,086,000	2,542,000
市民1人の当たりの損害額	1,540	1,660
1世帯当たりの損害額	4,550	4,860

■月別火災発生状況

(単位：件)

区 分	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
1月	2	—	1	—
2月	—	—	—	2
3月	—	—	—	3
4月	6	—	1	1
5月	3	—	—	2
6月	1	—	—	—
7月	1	—	—	—
8月	—	—	—	—
9月	—	—	—	1
10月	3	—	—	—
11月	—	—	—	—
12月	1	—	—	—
合計件数	17	—	2	9
割合(%)	60.7	—	7.2	32.1

■出火原因

(単位：件)

原 因 別	平成17年	平成16年
たばこ	6	5
放火の疑い	5	1
たき火	4	5
マッチ・ライター	2	—
こんろ	1	3
放火	1	1
電灯・電話等の配線	1	1
電気装置	1	1
風呂・かまど	1	—
火遊び	1	—
火入れ	—	7
焼却炉	—	1
排気管	—	1
配線器具	—	1
その他	3	1
不明・調査中	2	3
合 計	28	31

平成17年救急概況

問い合わせ 消防本部警防課(☎295-2111 内線26)

平成17年中の救急の概況をお知らせします

平成17年中における救急出場件数は1,829件で、前年に比べて189件増加しています。これを1日当たりで見ると5.01件(前年4.49件)で、前年に比べ0.52件の増となります。

救急事故種別では、急病が954件と最も多く、全体の52%を占め、次いで交通事故の341件(全体の19%)、その他の225件(全体の12%)となっています。

また、救急車の現場到着時間は「5分から10分」が1,018件で全体の56%を占め、ついで「3分から5分」が443件(全体の24%)、「10分から20分」が192件(全体の11%)となっています。現場到着平均時間は6分、また、救急救命士の救急出場の搭乗率は94.6%となっています。

AED(自動体外式除細動器)の講習会を開催します!

平成16年7月1日から、突然の心肺停止状態が発生した場合に、AED使用のための必要な講習を受けていることにより、一般の皆様でも命を助けることができるようになりました。AEDとは、その器材を使用して救命処置を施すことにより救命効果が上がる医療器材をいいます。消防本部では、一人でも多くの皆様にAEDの講習(普通救命講習会)を受講していただき、救命率の向上を図りたいと考えています。講習会は毎日予定しておりますので、どうぞ積極的にお申し込みの上、受講してください。

■月別火災発生状況

(単位:件)

月別	事故種別							その他							計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
1月	1	—	—	34	3	2	18	—	2	92	17	—	—	1	170
2月	—	—	—	23	5	3	12	—	1	86	15	—	—	1	146
3月	2	—	—	29	1	2	8	—	5	87	25	—	—	—	159
4月	2	—	1	27	2	2	13	—	2	77	34	—	—	1	161
5月	1	—	—	21	—	4	15	—	4	65	15	—	—	3	128
6月	—	—	—	29	4	4	10	—	3	74	12	—	—	4	140
7月	—	—	—	42	5	3	20	1	2	85	17	—	—	2	177
8月	—	—	1	30	2	1	24	—	2	81	19	—	—	3	163
9月	—	—	—	29	3	2	10	1	4	66	8	—	—	3	126
10月	—	—	—	20	1	2	18	—	1	69	24	—	—	1	136
11月	—	—	—	25	1	5	11	2	2	88	15	—	—	1	150
12月	1	—	—	32	5	1	20	2	1	84	24	—	—	3	173
計	7	—	2	341	32	31	179	6	29	954	225	—	—	23	1,829

■救急概要

(単位:件)

区分	東消防署	西消防署	計	一日平均
出場件数	1,337	492	1,829	5.01
搬送件数	1,229	470	1,699	4.65
搬送人員	1,315	496	1,811	4.96
不搬送	108	22	130	0.36

■現場到着時間

(単位:件)

区分	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	計	平均(分)
急病	95	202	558	97	1	953	5.9
交通事故	35	68	187	50	—	340	6.1
一般負傷	23	38	101	15	2	179	6
その他	11	135	172	30	—	348	6
計	164	443	1,018	192	3	1,820	6

問い合わせ
生活環境課環境保全係
298-1111 内線255

アスベスト（石綿）対策について

●アスベスト（石綿）ってなに？

アスベスト（石綿）は、天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で「せきめん」「いしわた」と呼ばれています。以前、建築工事では保温断熱を目的としてアスベストの吹付けが行われていましたが、昭和50年に原則禁止となりました。また、アスベストはそのほか様々な製品に使用されていましたが、現在では原則として製造等が禁止されています。

●アスベストが原因で発症する病気は？

アスベスト繊維は、肺繊維症（じん肺）、悪性中皮腫の原因になるといわれ、肺がんを引き起こす可能性があると言われています。また、アスベストによる健康被害は、アスベストを吸入してから長い年月を経て症状が出てきます。

●茨城県ではどんな対策をしているの？

「茨城県石綿の飛散防止のための緊急措置に関する条例」が平成17年11月10日から施行されました。この条例には、石綿を含有する建材を使用した建築物等の解体作業等に関し、大気汚染防止法における規制対象建築物の規模要件の撤廃、規制対象建材の拡大による規制の強化及び吹付け石綿使用建築の石綿飛散防止措置の義務づけなどが制定されています。

●那珂市ではどんな対策をしているの？

現在、那珂市では各施設のアスベスト分析調査を行っており、基準値を上回るアスベストの含有が確認された場合には、順次、仮囲い込み工事・除去工事等を実施していきます。また、市では下記の窓口で市民の皆さんからの相談・問合せに対応しています。

総合的な問合せ	生活環境課（内線255）
建築物の解体工事・建設リサイクル法に関する事	都市計画課（内線343）
廃棄物に関する事	生活環境課（内線253）
健康不安に関する事	健康推進課（内線531）

また、各関係機関の問い合わせ窓口については那珂市ホームページに掲載しています。

◎詳細は、次のホームページを参考にしてください

アスベストについてQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/07/tp0729-1.html>

今月の環境にやさしい行動

- 自家用車を買うときには低公害車を選ぼう
- 食器やなべの油汚れは、紙でふきとってから洗おう

気をつけて！

あなたはいつも
狙われています

10

問い合わせ
生活安全課消費生活係
298-1111 内線443

～クーリングオフ～

■クーリングオフとは

不意のセールスマンの訪問・勧誘に、購入意思が不安定なまま申し込みや契約をしてしまったが、諸処の理由により契約を解除したいとき、特定の販売方法で指定された商品・権利・サービスの契約をした場合は、定められた期間内であれば、無条件で一切の不利益を受けずに消費者が契約の解除をできる制度です。ただし、
○法律で指定された商品・権利・サービスであること。
○総額が3,000円以上であること。
○指定された消耗品の場合、開封していないこと。
に限られます。

販売方法	期間
訪問販売（キャッチセールス、アポイントメントセールス、催眠商法を含む）	8日間
電話勧誘販売	8日間
マルチ商法	20日間
特定継続的役務提供（エステ、語学教室、学習塾、家庭教師、結婚相手紹介サービス、パソコン教室）	8日間
業務提供誘引販売（内職商法）	20日間

※期間は、クーリングオフについての記載がある法定書面を受け取った日から数えます。

■クーリングオフができない場合

- 自分から店舗に出向いて購入 ○自動車
- 総額が3,000円未満 ○事業者として購入・契約
- 指定商品、指定役務以外の契約 ○通信販売

■クーリングオフ通知の書き方

クーリングオフによる解約の通知は必ず書面で行い、内容証明郵便か、ハガキであれば簡易書留か配達記録郵便扱いで郵送します。また、クレジット契約を結んでいる場合にはクレジット会社にも通知します。いずれの場合も必ずコピーをとって保管します。通知は必ず、クーリングオフの期間内の消印が押されるように郵送してください。書き方の詳細は直接お問い合わせください。

クーリングオフは最終手段です！

クーリングオフは期間も限られており、また全ての商品に対して適用されるわけではありません。ですから契約をする前にその商品・サービス等が本当に必要なものかをよく考え、契約書をしっかりと読むことが大切です。

【その他の問い合わせ機関】

茨城県消費生活センター
那珂警察署

☎225-6445
☎352-0110

第49回那珂市柔剣道大会が12月18日、那珂一中柔剣道場（柔道）と那珂総合公園（剣道）で開催されました。昨年まで那珂瓜連地区柔剣道大会として長年続いてきた伝統あるこの大会には、日々厳しい稽古を積んだ小・中学生190人が出場。選手たちは、大きな気合をかけながら、精一杯試合をしました。

入賞者は次のとおり（敬称略）

■柔道の部 【小学校1、2年生の部】①高村杢早（五台小）②西連寺克樹（佐野小）③横山歩美（菅谷小）③山田峻輔（菅谷東小）【小学校3、4年生の部】①川上充詞（菅谷西小）②樋口雅之（浜田小）③茅根海咲（菅谷西小）③根本明日香（菅谷）【小学校5、6年生の部】①大森志帆美（五台小）②尾張詩朗（菅谷西小）③郡司和生（木崎小）③茅根潮美（菅谷西小）【中学生男子の部】①尾張功樹（一中）②遠藤隆太（四中）③福地

少年・少女の気合い 会場にこだます 第49回那珂市柔剣道大会が総合公園、那珂一中で開催

優（一中）③佐藤光（一中）
【中学生女子の部】①関由美香（一中）③鈴木宏美（四中）
【中学生男子団体の部】①那珂一中

■剣道の部 【小学校1、2年生の部】①木村祐一郎（菅谷）【小学校3年生の部】①青木良平（菅谷）【小学校4年生の部】①助川友哉（戸多）②青木俊乃輔（菅谷）③金沢遥平（菅谷）③宮路祥樹（戸多）【小学校5年生の部】①川和田直輝（戸多）②山崎芽来未（横堀）③三代悠人（菅谷）③山崎貴大（横堀）【小学校6年生の部】①本図英章（戸多）②大内朋哉（額田）③富山伸二（横堀）③綿引愛実（芳野）【中学1年男子の部】①高橋学（三中）②越路綾（三中）③小



泉諒弥（三中）③渡邊駿（三中）【中学1年女子の部】①木田香奈美（三中）②宮路彩友香（三中）③関瞳（四中）③小池裕衣（四中）【中学2年男子の部】①秋山直紀（瓜連中）②片岡佑太（二中）③宗像翔太郎（四中）③越藤美博（一中）【中学2年女子の部】①塩野智美（一中）②高畑華子（二中）③服部操（二中）③川又あすみ（二中）

企画課広報係 ☎298-1111 内線433

ワーホイの声高らかに 小正月の伝統行事を継承 常陸鴻巣駅舎ワーキング委員会で蒔玉飾り・ワーホイ祭り開催

子どもたちに小正月の伝統行事蒔玉飾りやワーホイを伝えていこうと1月14日、常陸鴻巣駅ふれあい駅舎で地元ワーキング委員会（宮本勇会長）の主催で祭りが開催されました。

蒔玉飾りは、紅白のお餅を蚕の繭に見立て、モチノキなどの枝に刺す風習。養蚕が盛んだっころは、各地で見られた行事です。集まった本郷、みずとり子ども会の皆さんは、思い思いに願いを込めて、つきたて

のお餅を枝にくくりつけました。

また、ワーホイは、鳥追いとも呼ばれ、豆や茄子、菊（まめに働く、良き事為す、良き事聞く、の意）などの茎や殻を燃やして、田畑を荒らす野鳥を追い払い、五穀豊穡や無病息災を願います。火が付けられるとたちまち炎が高く舞い上がり「ワーホイ、ワーホイ」とはやし立てながら、火にあたりました。今年も豊作で、皆が元気で健康に暮らせますように。



一年の締めくくり 収穫祭 鷺匠会（鷺内）で活動状況を報告

高齢者クラブの鷺匠会（飯塚猛会長）が1年間の活動を報告し、会で栽培しているシイタケの収穫を祝う第9回ふれあいハッピー収穫祭が12月23日、鷺内不動尊コミュニティ広場で行われました。区内の杉原子ども会などを招いて行われた収穫祭では、ペタンクや輪投げで高齢者と子どもたちが和やかにふれあい交流。参加した皆さんは、大助ばやし保存会や子ども会によるお囃子を聞きながら、収穫したシイタケでバーベキューを楽しみました。

那珂市が初めて迎える新年 新たな飛躍を誓う

平成18年那珂市新年賀詞交歓会



那珂市が誕生して初めて迎えた新年1月11日、那珂市新年賀詞交歓会がセンチュリープラザNAKAで開催されました。市執行部や市議会をはじめ市内各界代表者など約350人が出席し、地元選出国會議員、県會議員を来賓として迎え、那珂市の新たな飛躍と発展を誓いました。

式典で小宅市長が「市民の融和と一体感の醸成に努めるとともに、質の高い行政サービスの提供に努め、

県北地域の拠点都市として、住民が住んでよかったと思えるまちづくりを目指します」と新年の抱負を述べました。小宅市長、福田市議會議長、木名瀬那珂町商工会長、宇佐見瓜連町商工会長、砂押ひたちなか農業協同組合代表理事理事長が鏡開きをし、その後出席者全員で乾杯。瓜連乱舞会や那珂よさこい連の皆さんによるアトラクションを楽しみながら、出席者は和やかに懇談しました。



危ないと感じたら大声を 市内全小学校で防犯教室

那珂警察署が主催する防犯教室が12月19日から12月21日まで、市内の全小学校で1～3年生を対象に開催されました。全国各地で多発する児童を狙った犯罪を受け、登下校時における安全確保を目的に実施されたものです。

教室では、講師を務めた警察署職員から「知らない人にはついていかないこと」「知らない車には決して乗らないこと」「危ないと感じたら大声を上げて逃げること」など危険を避けるための注意がありました。

まちの話題

地域の話題や身近な行事などありましたら、次までおしらせください。



国際交流サロンへようこそ

国際交流サロンが開催

那珂市国際交流協会が主催する「国際交流サロン」が1月15日、市中央公民館で開催され、同会会員や外国人のかたなどがお茶やお話を楽しみました。今回は、マルガリータさん(ロシア出身)を講師に、「ロシア風カッティング・ボード」制作に挑戦。植物やロシアの伝統的な人形「マトリョーシカ」の絵を、縦23cm横14cmほどの板に描きました。鮮やかな色使いが特徴で、参加者からは「とても美しい。よい記念になります」と好評でした。

家族の交流を大切に

第1回「家庭の日」図画・作文発表会並びに表彰式

家庭の日にちなんだ図画と作文の表彰と発表が12月18日、総合センターらぽーるで開催されました。式では「作文の部」金賞受賞者が家族の絆について、それぞれの意見や体験を発表。会場からは大きな拍手が送られました。金賞以上の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

【図画】細越大智(五台小) 三村日菜

(横堀小) 小田部明広(戸多小) 黒澤亜美(瓜連小) 小林真由(菅谷東小) 高橋明生(戸多小)

【作文】緑川七葉(芳野小) 海野太一(菅谷西小) 小泉和希(額田小) 斉藤幸宏(菅谷小) 島田勇貴(菅谷西小) 田崎海斗(菅谷東小) 岡崎翔太(瓜連中) 鴨志田爽(那珂一中)



国民年金コーナー 年金はご自身で請求手続きが必要です

すべての年金は、受けられる資格があっても本人の請求がなければ支給されません。

請求先は加入していた年金制度によって異なります。

加入していた年金制度	請求する年金	請求先
国民年金にのみ加入していた人	老齢基礎年金	第1号被保険者期間のみの場合 市役所(本庁)国保年金課 瓜連支所環境福祉課
		第3号被保険者期間を含む場合 住所地を所轄する 社会保険事務所
厚生年金にのみ加入していた人	老齢厚生年金	最後の勤務した会社の 管轄社会保険事務所
共済組合にのみ加入していた人	退職共済年金	各共済組合

○年金の受給権は、受けられる権利の要件が整った日に発生します。

老齢厚生年金・老齢基礎年金は、65歳に達した日(65歳の誕生日の前日)で65歳以後に受給資格期間を満たしたときはその日。繰上げ請求した場合や繰下げ申出した場合は、請求書の受付日になります。

○特別支給の老齢厚生年金は、60歳に達した日で、それ以後に受給資格期間を満たしたときはその日になります。

○現在、厚生年金保険や共済年金を受給中のかたは、65歳の誕生月に社会保険業務センターから届くはがき形式の「国民年金・厚生年金保険老齢給付裁定請求書」を提出することによって、老齢基礎年金請求の手続きが完了します。

問い合わせ／水戸北社会保険事務所 ☎231-2381
国保年金課国民年金係 ☎298-1111 内線142

○相談されるかたは、年金関係の書類(年金証書、年金手帳等)をご持参ください。

○納付窓口を開設しますので、国民年金保険料の納め忘れのあるかたはこの機会をご利用ください。

○年金相談・保険料の納付は、当日来庁されたかたから順に行います。※事前予約受付なし

相談員／水戸北社会保険事務所職員
問い合わせ／
市国保年金課国民年金係
☎298-1111 内線142

「住基カード」持っていますか？

○住基カードは、次のような利用ができて便利です。

①写真付き住基カードは、運転免許証と同じように公的な身分証明書として利用できます。

②国税や地方税の申告、パスポートの交付申請等様々な行政手続きがインターネットを通じて自宅等のパソコンから24時間行えます。(公

的個人認証[手数料500円]もあわせて取得する必要があります。)

③全国どこの市町村からでも、住民票の写しを取ることができます。

④住所異動の手続きが簡単になります。

○住基カードの作成手数料は500円です。

問い合わせ／市民課総務係
☎298-1111 内線153

市内一斉清掃のおしらせ

平成17年度「第2回市内一斉清掃」を実施しますので、皆様のご協力をお願いします。

実施日／3月12日(日)

※荒天の場合は、3月19日(日)に実施します。

※回収したごみ等は必ず中身の見える袋に入れてくださいますよう、ご理解・ご協力をお願いします。

問い合わせ／

明るく住みよい那珂市民運動推進協議会事務局(市中央公民館内)

☎298-5680

ご協力ありがとうございます
善意銀行へ

11月15日～1月14日(敬称略)

やまびこ音楽教室	50,000円
ローソン那珂古徳店	6,000円
匿名	30,000円
野木利三郎	10,000円
総合センターらぼーる図書館	8,294円
水戸ヤクルト販売	50,000円
(株)海野農機商会	10,000円
切手・テレカボランティアアビー	15,000円
中台第二区	6,000円
渡邊秀明	13,000円
ガールスカウト茨城県第37団	8,567円
匿名	5,000円
福田勝男	2,000円
※善意銀行の寄付は、那珂市社会福祉協議会でお受けしています。	
☎298-8881	



ガールスカウト茨城県第37団から小宅市長へ

* 今月の納税 *

- 固定資産税・都市計画税 4期
- 国民健康保険税 8期
- 介護保険料(普通徴収) 6期

納期限：2月28日

■税標語 関東信越国税局長優秀賞
「この税で 笑顔あふれる

街づくり」

那珂三中 3年 中川大輔さん

* 人の動き *

那珂市の人口(1月1日現在)

※()内は前月比

男	27,962人	(-14)
女	28,669人	(+5)
計	56,631人	(-9)
世帯数	19,711世帯	(+19)

■市役所の電話番号

☎298-1111 (代表)

■ホームページ URL (携帯可)

<http://www.city.naka.ibaraki.jp>

■メールアドレス

kikaku@city.naka.lg.jp

■おしらせ版

市では、「広報なか」のほかに、「おしらせ版」(月3回(ただし、5月、8月、1月は月2回))を発行しています。このコーナーではその一部を掲載していますが、「おしらせ版」も併せてご覧ください。



3月の休日当番医

5日 小野瀬医院 (後台)
☎295-2221

12日 埴内科消化器科 (後台)
☎295-2110

19日 瓜連慶友整形外科 (古徳)
☎296-1116

21日 えびすいクリニック(菅谷)
☎295-8881

26日 越田医院 (菅谷)
☎298-0051

■診療時間／9:00～11:30

※往診はしません。

※保険証は必ず持参してください。

※診療時間外は、茨城県救急医療情報コントロールセンター(県メディカルセンター)へお問い合わせください。

☎241-4199

法律相談

次のとおり、法律相談を行います。

日時／3月14日(火) 13:00～17:00

場所／市役所(1階市民相談室)

相談員／弁護士

※事前に予約が必要です。

申し込み・問い合わせ／市秘書課市民相談室 ☎298-1111 内線118

■那珂市は「青少年健全育成のまち」 みんなで積極的に青少年を育成しよう！

【入選標語】 ひと声が 地域を結び 子を守る

小堆 弘子さん(田崎)

心配ごと相談

日時／3月1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)

いずれも9:00～15:00

場所・問い合わせ／那珂市社会福祉協議会(市総合保健福祉センター「ひだまり」内) ☎298-8881

みんなの健康相談

日時・場所／

○3月6日(月)、20日(月)

市総合保健福祉センター

「ひだまり」

○3月22日(水)

市総合センターらぼーる

※受付時間は、9:30～11:00

相談内容／(健康や身体に関する相談)

- ・生活習慣病予防
- ・予防接種や赤ちゃんのこと
- ・こころの悩み、思春期・更年期に関すること
- ・各種栄養相談など

費用／無料

持ってくるもの／

赤ちゃん 母子健康手帳

大人 健康手帳または血圧手帳

担当者／保健師、看護師、栄養士

問い合わせ／

市総合保健福祉センター「ひだまり」

健康推進課成人保健係 ☎270-8071

雛人形展を開催します

毎年恒例となりました「雛人形展」を次のとおり開催します。館所蔵に加え、市民の皆様から出展されたお雛様が約20点並びます。

明治から平成と、時代を越え守り伝えられてきた人形たちの年に一度の展示ですので、皆様お誘い合わせの上、ぜひお出かけください。

開催期間／2月11日(土)

～3月12日(日)

時間／9:00～16:30

(入館受付16:00まで)

休館日／毎週月曜日

場所／市歴史民俗資料館 常設展示室

入館料／無料

問い合わせ／市歴史民俗資料館

☎297-0080

水道管の凍結防止について

今年の冬は例年になく厳しい寒さのため、水道管の凍結や破裂のおそれがあります。メーターの場所などを確認の上、次の対策をお願いします。

○凍結による破損を防ぐために

屋外の露出した水道管や蛇口を保温材等で防寒してください。メーターボックスに、発泡スチロールなどの保温材や布切れを入れて、メーター及び水道管を保護してください。

○水道管が凍結したとき

気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、凍ってしまった部分にタオルなどを被せて、ゆっくりとぬるま湯をかけて溶かしてください。(急に熱湯をかけると破裂することがあるので注意してください。)

○水道管が破裂したとき

メーターボックス内にあるバルブを閉め、水を止めた後に、那珂市指定水道業者に修理を依頼してください。バルブを閉めても水が止まらないときは市水道課へご連絡ください。

問い合わせ／

市水道課管理係(瓜連支所)

☎296-1941(市水道課直通)

休日・夜間緊急連絡先

☎295-2451(木崎浄水場)

☎296-2131(瓜連浄水場)

年金相談及び国民年金保険料の納付窓口開設のお知らせ

次のとおり、年金相談及び国民年金保険料の納付窓口を開設します。

実施日時／3月20日(月)

10:00～16:00

場所／市役所(本庁) 1階102会議室

内容／

○国民年金・厚生年金について詳しく知りたいかた、不安や疑問をお持ちのかたなどのご相談・ご質問をお受けします。

■市中央公民館から新着図書のご案内



砂漠

入学、1人暮らし、新しい友人、麻雀、合コン。学生生活を楽しむ5人の大学生が、社会という「砂漠」に囲まれた「オアシス」で超能力に遭遇するが。パワーみなぎる青春小説。

伊坂幸太郎／実業之日本社



夢のなか

忘れられない人がいる。断ち切れない思いがある。嫁き遅れた縹緞よしにも、隠居暮らしの慶次郎にも。ここでしか味わえない江戸の匂いと人情の艶。

北原亜以子／新潮社



彰義隊

彰義隊の精神的支柱であった上野寛永寺山主の輪王寺宮能久親王。はからずも「朝敵」の盟主となった輪王寺宮の苛烈な生涯を中心に、維新の真実に迫る壮大な長編歴史小説。

吉村昭／朝日新聞社



ひょうたん

天の神さんは、あたしたちを試したのかもしれない。のんきな亭主と勝気な女房。ふたりが営む小道具屋を舞台に情趣ゆたかに描かれる、江戸に息づく熱い人情と心意気。

宇江佐真理／光文社



スープ・オペラ Soup opera

島田ルイ、35歳独身。ベタな毎日が激変。いい男が現れ、同棲？しかも、お相手は2人！ひとつ屋根の下に、独身女性と男性が2人。スープでつながる恋の花咲く長編小説。

阿川佐和子／新潮社



狐官女

悩める者は救われねばならぬ。人の心の闇に光を当て、棲みつく魔物を陰陽の力で退治する時代シリーズ第3弾。

澤田ふじ子／光文社

12月の図書室利用状況

一般書貸出 1,782冊
児童書貸出 897冊

■図書室は、市中央公民館の休館日（月曜日・月曜日が祝日にあたるときはその翌日）が休みとなります。

市中央公民館 ☎298-5680

その他の新着図書紹介

【一般図書】●「グッドバイ 叔父殺人事件」折原一／原書房●「おらんくの池」山本一力／文藝春秋●「バスジャック」三崎亜記／集英社●「港町食堂」奥田英朗／新潮社●「金春屋ゴメス」西條奈加／新潮社●「なつかしく謎めて」アーシュラ・K・ル＝グウィン／河出書房新社●「タッチ」ダニエル・キイス／早川書房

戸籍のまど

11月15日～1月14日届出

おめでた

住所	出生児氏名	届出人
菅谷 佐藤	溪介	雄哉
鴻巣 古川	瀧真	正太郎
門部 澤幡	拓帝	秀輝
菅谷 赤岩	薫	麻里
菅谷 仲田	翔	政義
後台 増渕	晃一	一義
飯田 細谷	玲奈	智行
額田南郷 小田倉	星奈	剛生
菅谷 木名瀬	陽基	貴章
戸崎 大内	奏空	仲夫
菅谷 横山	結	浩治
後台 小鹿	聖	賛
菅谷 加藤	樹里	秀樹
東本倉 後藤	夢之	隆之
菅谷 渡邊	陽大	博
菅谷 莊司	一成	慎一
額田北郷 船橋	海琴	拓海
菅谷 角田	裕一朗	裕之
菅谷 角田	若菜	裕之
堤 鬼沢	怡奈	泰裕
菅谷 伊藤	隼輝	博之
菅谷 益子	裕太	雅樹
菅谷 本多	由空	学
飯田 小泉	和明	一己
菅谷 小林	玲央	敏昭
菅谷 澤畑	菜々美	裕樹
菅谷 小川	嶺斗	浩司
菅谷 大貫	真牙聡	拓也
額田南郷 笹原	ひより	和典
菅谷 荻津	結衣	厚緒
本米崎 佐川	隼	和敏

おくやみ

額田南郷	瓜連	杉	額田南郷	平野	本米崎	菅谷	菅谷	菅谷	菅谷	菅谷	菅谷	鴻巣	菅谷	福田	鴻巣	菅谷	向山	戸崎	瓜連
鈴木	高野倉	本田	木本	前島	大竹	井上	中村	川田	阿部	小川	濱中	掛札	笠原	竹村	海野	櫻井	小澤	齋藤	新井
航陽	愛弓	美生	新奈	漱	彩愛	大和	明日花	悠翔	慧輔	穂華	謙伸	渉太	莉玖	元希	生光	春菜	諒也	真洋	開介
美智也	勇二	一寿	俊雄	敏彦	教仁	英樹	高弘	和明	雅樹	賢二	孝行	秀憲	健一	健司	琢也	寧	誠	勝義	秀人

おくやみ

住所	氏名	年齢
本米崎	岩間 佐吉	83歳
中台	木内 みか	86歳
菅谷	笹島 やゑ	99歳
鹿島	薄井 コツエ	78歳
鹿島	生田目 新一	80歳
平野	山田 勲	62歳
戸	金澤 はる	84歳
鴻巣	宮本 みち	93歳
本米崎	武藤 梅夫	92歳
杉	中村 貞子	76歳
後台	上田 朝男	77歳
飯田	木村 二三男	57歳
中台	根本 きよ	86歳
中台	石川 昭	74歳
中里	木内 シン	100歳

額田南郷 平山	進	91歳
菅谷 川又	あすゑ	77歳
瓜連 玉川	誠	90歳
平野 関	三郎	89歳
古徳 寺門	ふさ	81歳
横堀 山崎	偉	69歳
飯田 石井	善次	70歳
瓜連 和田	千代子	72歳
門部 飯塚	弘	90歳
菅谷 飯塚	かね	76歳
静 中里	しん	91歳
中里 木内	壽雄	82歳
福田 栗原	美栄子	33歳
戸 渡邊	二男	78歳
瓜連 渡邊	光雄	70歳
中台 照沼	房夫	89歳
菅谷 藤咲	一枝	80歳
静 大曾根	イチ	96歳
南酒出 桐原	千代	81歳
額田東郷 寺門	忍	78歳
中台 五味田	豊吉	93歳
戸 三田	宣之	85歳
北酒出 関矢	重喜	77歳
菅谷 庄司	実	73歳
瓜連 菊池	みつ	84歳
額田東郷 塩野	光洋	16歳
後台 寺門	浩	59歳
瓜連 寺門	文子	88歳
飯田 寺門	卯之次郎	89歳
菅谷 平野	きよ	87歳
鴻巣 呷野	光男	73歳
鴻巣 古橋	力男	53歳
中里 萩野谷	正男	77歳
戸 綿引	正	82歳
門部 古谷	てる	93歳
後台 堀口	嘉平	92歳
飯田 齋藤	喬興	83歳

下大賀 秋山	あつ	90歳
向山 大森	武彦	88歳
飯田 間宮	孝一	83歳
北酒出 小林	きみ江	88歳
瓜連 岡本	八千代	75歳
瓜連 楠見	きくえ	87歳
額田南郷 小田倉	道子	85歳
菅谷 加倉井	清治	71歳
鴻巣 細谷	正夫	75歳
菅谷 赤津	富美子	90歳
額田北郷 小泉	信夫	68歳
中里 岩崎	カネ	77歳
豊嶺 小野	雅美	30歳
南酒出 小室	なみ	93歳
福田 高橋	みさを	90歳
後台 鴨志田	美壽子	82歳
菅谷 飯塚	邦明	80歳
静 小沼	チエ子	61歳
菅谷 大森	てる子	75歳
門部 山崎	つや	81歳
額田北郷 渡邊	文子	91歳
戸 忠	ふみ	78歳
鴻巣 大内	みよ	88歳
下大賀 秋山	正巳	64歳
福田 引田	サジエ	70歳
本米崎 萩野谷	力	81歳
後台 中山	キヨ	80歳
菅谷 佐藤	次男	73歳
後台 海野	晴江	81歳
菅谷 大久保	美代子	79歳
本米崎 佐藤	征	60歳
後台 海野	ふく	86歳

※このコーナーは、市民のみなさまから届出があったもののうち、掲載を希望されたかたのみ掲載しています。



夢中になれること
それに出会えたことが嬉しい

活き活き

第12回



新体操でインターハイを目指す
岩上紋子さん／瓜連

ク

ラフやリボンなど5種類の手具を自在に操り、華麗な演技を競う新体操。日立二高の岩上紋子さんは、インターハイ出場を目指し活動しています。

岩上さんが新体操に出会ったのは5歳のとき。近所のお姉さんの踊る姿に憧れて、自分もあんな演技がしてみたいと教室に通い始めました。

それから11年。あの感動は今でも色あせません。小・中学生時代には練習に打ち込み、全国大会にも出場。高校進学では迷わず新体操部のある日立二高へ。表現力にも磨きをかけようと、クラシックバレエの教室に通い、演技力の向上に努めています。得意とするのは、高いジャンプと安定したバランス技。とくに

足を上げて静止する姿には「ちょっと自信があるかも」と照れる岩上さん。また、学校から帰宅するなり世界で活躍する外国人選手のビデオを取り出し、演技の研究をする

のが日課、と笑うのはお母さん。伸び伸びと演技する姿を見るのが楽しみで、家族みんな暖かく見守っていると話します。

そんな大好きな新体操ですが、過去に辞めようと考えたこともありましたが。昨年は度重なるケガに練習を休む辛い毎日が続き、さすがに新体操を続けることを諦めた岩上さん。しかし、家族の励ましのもと治療に専念。今では順調に回復し、練習も再開できるようになりました。「運動選手にケガはつきもの。ぎ

りぎりのところで努力している結果、と考えたら気が楽になりました。新体操をできなかったことが、更に想いを強くしたと話します。

そして新たな夢が生まれました。大学で運動生理学などを学び、やがては新体操の指導者になること。そして、生徒がケガをすることなく練習に専念できる指導をしたい。そのときには、ケガに悩んだ自分の経験が活かせるのでは、と目を輝かせます。

「夢中になって打ち込めるものに出会えたこと、そして、それを支えてくれた周囲のみんなに感謝したい。今は焦らずにケガを完治し、インターハイを目標に頑張っていきます。」

HAPPY
BIRTHDAY!

はじめてのたんじょうび

—ご家族からのメッセージ—



りくと
大杉陸翔くん
父・樹央さん 母・美名さん
2月27日生まれ（菅谷）

芯の強い
おっきな子になって欲しいなあ



こちゃん
戸越もも香ちゃん
父・誠さん 母・裕美子さん
2月27日生まれ（杉）

優しいお兄ちゃん2人に囲まれて
思いやりのある子に育ってね



りる
佐藤里琉ちゃん
父・英司さん 母・美衣子さん
2月21日生まれ（菅谷）

思いやりのある
優しい子になってね



【俳句】あせび句会 小橋末吉選

天辺を陽に届かせて竹の春
石路の花白き土塀の武家屋敷
窯の火の熱気にほてる小春かな
尖塔の空つき抜けて紅葉晴
煩惱と悟りのほさま枯尾花
庭手入れされてきりりと菰巻かる
二百年の曲屋守りて吊し柿
欠点を責めず呑みこむ冬至粥
朽ち果てし水車の里の冬紅葉
荷車に大根満載立ち話
落葉径隠れ木の根につまづきぬ
しんがりを歩く紅葉の岐れ道
無住寺につき当りけり烏瓜

雨宮文枝 宇佐美和子 飯島京子 大森満 海後甫 高野祝子 伊藤玉江 筒井かよ子 袴塚和子 武藤やよひ 溝井章恵 會澤ちい子 山澤良子

【短歌】白鳥短歌会

年齢も曲れる腰も気にせずに学童保育の読み聞かせする
強風に滝のごとくに降る紅葉吸い込まれゆく冬の入り口
落ち葉焚く白き煙のさびしかり浦島太郎の手箱ふと顕つ
ふんわりと天女の舞の茜空またたく間に消え一番星光る
故郷からリングの箱の宅配が送られて来て冬に入りたり
謡ふ声遠く離れゆくよみ黄泉の路冥福あれと直に祈るも

井坂光位 上田はるみ 関谷亀寿 中崎美登利 水書恵子 中井胤文

古
ふるさとのまち
里

大分県北部の雄藩として、歴史を編んできた城下町中津市。中津には、そこはかとなく往時の名残が随所に残り、その営みが今に受け継がれます。生まれ育った中津市寺町は、地名のとおり十数もの古寺名刹が山門を連ね、長年の法灯を守っています。私もその一つ、浄土宗円龍寺の住職の次男として生まれました。

父に連れられ幼い頃から檀家さんのお宅を廻っていたことをつい昨日のことのよう思い出します。円龍寺は、閻魔大王が安置されていることから別名、閻魔寺とも呼ばれる寺。檀家の武士が箱根山中で奇禍にあったとき、閻魔大王への懺悔と信仰によって助けられたためそう呼ばれています。向かいには、河童伝説のある円応寺、また、中津城内の争いごとから、門前の白壁を幾度塗り替えてもその壁から血の痕が絶えないので、ついには赤色に塗られたという台元寺など趣き深い寺が並び、中津の歴史を支えています。



小笠原純生さん／瓜連

第12回

歴史漂う城下町
豊前中津は我が古里

大分県中津市

大分県



中津市

■ふるさと一口メモ

平成17年3月に1市3町1村で合併した新生中津市は、大分市、別府市に次ぐ大分県第3の都市です。北部は周防灘（瀬戸内海）に面し、南部の日本耶馬溪、耶馬溪、山国町は殆どが山間部でこの地域は「耶馬溪」と呼ばれ景勝地として有名です。また、古くから高い文化に育まれてきた中津市では、蘭学の創始者前野良沢、啓蒙思想家福沢諭吉をはじめ優れた人材を数多く輩出しています。人口約86,500人。

少年期に過ごした中津で思い出すのは、通称「お祇園さん」で親しまれている中津祇園。古くは九州三大祇園の一つと称されたそうです。毎年7月20日からの3日間、12台の祇園車と呼ばれる漆塗りの華麗な山車が、中津の町内を練り歩き、辻々では祇園車の上で民舞等が披露されます。勇壮な若者と祇園車が颯爽と

走り抜けていく様子に幼心に荘厳さと迫力を感じたものです。縁あって大学3年時の昭和38年、瓜連の常福寺に参り、以後43年の間、地元の皆様と過ごして参りました。法要等で帰省する機会は多々ありますが、その度に私を包みこみ、安堵させてくれる古里に感謝しております。

「明るく元気に」を心がけています

わたしは水戸にある花王マーチャ
ンダイジングサービス株式会社にコ
スメマーチャンダイザーとして働き
はじめて約2年になります。あまり
聞いたことのない職業かとは思いま
すが、ドラックストアでの花王の商
品をお客様に買っていただくための
効果的な陳列や情報発信、販売促進
のお手伝いなどが主な仕事で、担当
している店舗を訪問して忙しい毎日
を送っています。お店では店員さん
だけでなくお客様とお話すること
も多く、何かと氣を使います。また、
新商品が発売されるときには、一度
にたくさん商品の品を並べなくてはな
らず、体力的にも大変ですが、自分
が陳列、演出をした商品を目の前で
お客様に買っていたのを見ると
うれしいし、やりがいを感じます。
趣味は読書です。面白い本を探すの
に、本屋と図書館通いは欠かせませ
んね。



鶴田千里さん
後台 26歳

ぼくとわたしの美術館



戸多幼稚園
ちのねたえちゃん(6歳)

ふゆやすみにおかあさんとバ
トミントンをしてあそびまし
た。とても楽しかったよ。



かしま台保育園
さかいそうたくん(6歳)

はくちょうけんがくにいつて
きました。パンをあげるのが
たのしかったよ。



芳野小学校 2年 昨野友祐さん



芳野小学校 3年 小林佳純さん



芳野小学校 5年 大内康平さん



表紙の裏側

● わらかまくらを再現！大雪で雪のかまくらに変身？

那珂市誕生一周年を迎えて那珂
町商工会と瓜連町商工会両青年部が、
何か市民の皆さんに喜んでもらえるも
のをと昨年の横手市からプレゼントさ
れたかまくらをヒントに「わらかまくら」
を製作。一日がかりで立派なかまくら

が完成しました。市内の一部でも伝
わるわらかまくら。小正月の伝統行
事に、わらを編んでかまくらにし、正
月飾りや書初めなどと一緒に燃やして、
五穀豊穡を願ったという風習があった
そうです。

